

光星は開幕戦

全国高校野球 6日、誉（愛知）と

6日に阪神甲子園球場で開幕する第101回全国高校野球選手権の組み合わせ抽選会が3日、大阪市のフェスティバルホールで開かれた。本県代表の八学光星は大会初日、午前10時半からの開幕試合で愛知代表で初出場の誉（ほまれ）と対戦する。（大久保拓地）



甲子園開幕試合で戦う誉の林山侑樹主将と握手を交わす八学光星の武岡龍世主将＝3日午後、大阪市

八学光星ナインは、3日午前、大阪府三木市の三木高校グラウンドで練習を行った後、午後4時からの抽選会に臨んだ。

事前の予備抽選の結果、武岡龍世主将は出場49校のうち、42番目に抽選。徐々に対戦カードが決まってくる中、開幕戦のカードが決まっていた。このことに気がついたナインは「開幕戦引け」と盛り上がりはじめた。武岡主将は「八学学院光星、1Aです」と抽選結果を読み上げた瞬間、ナインは雄たけびを上げ「まさじで引いた」などと笑顔を浮かべながら驚いていた。監督や現地の雰囲気慣れるため、大会4日目を狙っていたという武岡主将は「まさか初戦とはびっくりした」と苦笑い。「誉がどういふチームかはまだ分からないが、自分たちのやってきたことを信じて試合に臨むだけ」と意気込みを見せた。



武岡主将が開幕戦の対戦カードを引き当て、盛り上がる八学光星ナイン

開会式の疲れ心配

八学光星・仲井宗基監督 選手の調整は開幕に合わせてやってきたので、開幕戦は問題ないが、開会式の疲れが試合に出ないか心配。誉の情報収集はこれから。うちには甲子園経験者がたくさんいるので、その有利を生かしたい。

開幕戦にびっくり

八学光星・武岡龍世主将 開幕戦決定にはびっくりした。観客が多く来る注目の試合になるはず。（初出場の）誉がどういふチームか分からないが、県大会を勝ち上がっている。隙を見せず、自分たちのやってきたことを信じて頑張りたい。

監督・主将コメント

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです